

第133回 生涯教育研修セミナー

Web

日時 2024年6月8日(土) 午後3:00～午後6:00

方法 **Web配信** ※参加費無料、事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたは二次元コードにて6月2日(日)までに参加登録フォームにて参加登録をお願いいたします。
追って事務局よりzoom視聴用URLをお送りいたします。

登録後1週間以上経ってもzoom視聴用URLが届かない場合は、恐れ入りますが以下事務局までご連絡ください。

https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_7E8HhyvCQ-iqTiMHvvc97g



参加対象 慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位 日本医師会生涯教育制度参加証交付 1.5単位
カリキュラムコード：0

開会の辞

医学部長・慶應医学会長 金井 隆典

挨拶

三四会会長 武田 純三

テーマ：『眼科医療の最前線』

人が得る情報の80%は、眼から入るといわれています。情報化社会かつ超高齢社会において、視覚機能の維持は高齢者の自立と健康寿命の延伸のために非常に重要です。

近年の技術革新により眼科医療はめざましい進歩を遂げ、診断・治療のレベルが飛躍的に向上しています。

たとえば、角膜領域では、従来からの全層角膜移植に加え角膜の部分移植(内皮移植)が導入され、治療成績が向上しています。網膜領域では、抗VEGF(Vascular endothelial growth factor:血管内皮細胞増殖因子)療法の普及や小切開硝子体手術システム・眼科用3次元映像システム(デジタル高解像度4Kモニターと専用の偏光眼鏡により、眼組織を鮮明かつ立体的に観察できるシステム)により、低侵襲で繊細な手術が可能となっています。一方、本邦の中途失明の原因第一位である緑内障については、新規薬剤やサージカルデバイスが上市されているものの、未だ有効な予防法は確立されておらず、潜在的なリスク因子である遺伝要因、生活・環境要因と緑内障のリスクの関連は明らかではありません。

本生涯教育研修セミナーでは、「眼科医療の最前線」をテーマに、角膜ならびに網膜領域からは本邦を代表する2名の術者にご講演いただくとともに、緑内障領域においては、新進気鋭の若手演者から最新の研究についてご紹介いただきます。

モデレーター：慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授 根岸 一乃

講演

1. 「角膜の神秘と角膜移植の最前線」

東京歯科大学市川総合病院眼科 教授 山口 剛史

2. 「緑内障研究の最先端 ～分子疫学的手法による緑内障のリスク因子探索～」

慶應義塾大学医学部眼科学教室 助教 羽入田明子

3. 「網膜硝子体領域の最先端手術」

杏林大学眼科学教室 教授 井上 真

挨拶

中外製薬株式会社 代表取締役社長 奥田 修

閉会の辞

生涯教育研修セミナー委員会委員長、慶應医師会会長 佐々木淳一

次回予定 2024年10月26日(土)開催

【共催】

慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会／慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会／慶應医学会
中外製薬株式会社

【連絡先】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学医学部 総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail: med-somu-3@adst.keio.ac.jp